

稲作だより 第5号

平成21年7月29日

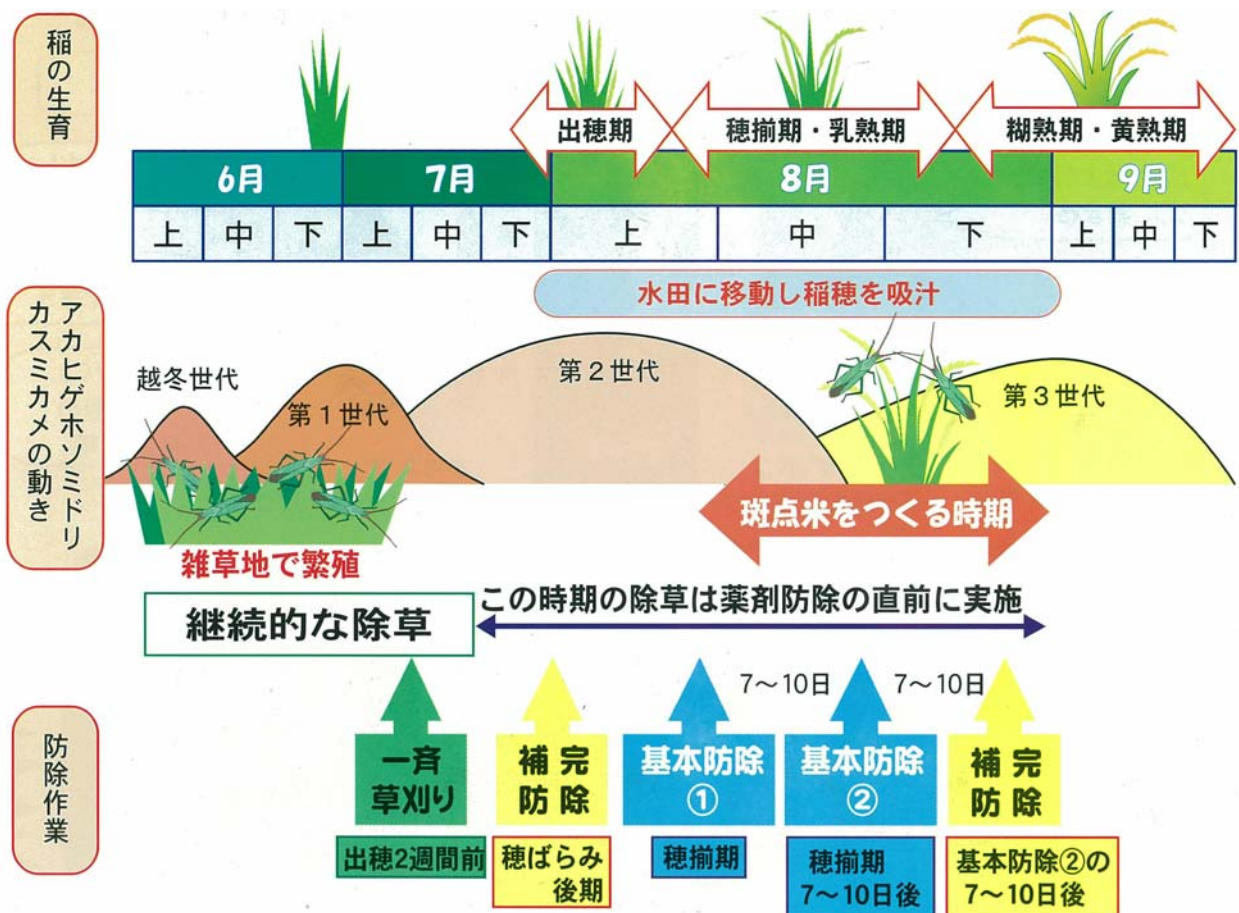
出穂は平年並みと予想され、はえぬきの出穂は8月6日頃と見込まれます。7月24日に葉いもちの注意報が発表されました。また、7月29日頃からの約1週間、気温が平年よりかなり低くなる気象情報が出ています。早期防除、適切な水管理を行いましょ。

☆ **いもち病に注意！ ～発生が拡大しています～**

管内全域で葉いもちの発生が見られます。7月のぐずついた天候により、葉いもちに感染しやすい日が多くみられました。そのため、箱施用剤を使用した場合でも、**発生の有無を早急に確認して下さい。**

上位葉に葉いもちが発生しているほ場では、直ちに薬剤散布（カスミン粉剤DLは安心米・特別栽培米でも使用できます）を行い、穂いもちの発生を防ぎましょ。

☆ **カメムシ雑草地で増殖中！**



カメムシの防除体系

- 基本は2回防除（穂揃期及びその7～10日後）
- 基本防除後も水田内でカメムシの飛来・生息が確認された場合は、基本防除2回目の防除から7～10日後に補完防除を行う。

☆ 生育・天候にあわせた水管理の徹底を！

7月29日頃から低温になる予報が出ています。穂ばらみ期（出穂前9～11日頃）に低温が見込まれる8月10日頃出穂の中山間・山間の「あきたこまち」は、深水管理を行いましょ。

◎今後は間断灌水（2湛2落）を基本に根の活力維持を

- 出穂開花期は一時湛水管理……水分を最も必要とする時期です。
- フェーン現象の高温乾燥時や強風時には湛水管理
イネが水分不足にならないように注意します。

高温登熟時は出穂後2週間の水管理が特に重要です。

◎落水は出穂後30日を目安に

早期落水は品質低下につながります。

「つや姫」情報 No.5

7月9日に「さがえ西村山つや姫栽培研究会」の会員及び関係機関で「つや姫」の展示ほ・試験ほを巡回し、現在の生育状況を確認するとともに、穂肥の時期・量などの検討を行いました。これまでの生育は、マニュアルの指標値に比べて、草丈が短く、茎数が多く、葉色はやや濃く推移しています。出穂は8月12日頃と予想しています。

「つや姫」の生育データ

	6月18・19日				6月29・30日				7月8・9日				7月17・21日			
	草丈 (cm)	茎数/m ²	葉数	葉色 (SPAD)	草丈 (cm)	茎数/m ²	葉数	葉色 (SPAD)	草丈 (cm)	茎数/m ²	葉数	葉色 (SPAD)	草丈 (cm)	茎数/m ²	葉数	葉色 (SPAD)
さがえ西村山平均	31.1	305	7.1	39.8	42.0	526	8.9	42.2	55.1	574	9.9	40.6	64.5	551	10.7	38.1
指標値(つや姫マニュアルより)	38.0	390	8.2	39.0	48.0	510	9.3	40.0	58.0	500	10.2	38.0	70.0	460	11.2	36.0

新・米づくりやまがた日本一運動

JAさがえ西村山 JAさがえ西村山水稲部会
村山総合支庁西村山農業技術普及課

常日頃からの実践！

- ☆農作業の事故防止
- ☆農薬の適正な使用